

日本共産党

豊島区議団ニュース

発行所：日本共産党豊島区議団 東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区役所内 TEL.(3981)1429 FAX.(3590)4650

14年第1回定例区議会

日本共産党の頑張りで区民要求実現



認可保育園 5園誘致へ

認証保育所 保育料補助を拡充



認可保育園増設の 願い実現のために

2014年第1回定例会は、2月14日から3月24日の日程で開催されました。区議団は14年度予算審議や区民から寄せられた50億円のホール計画の撤回を求める陳情の採択を求めるなどで、区民要求実現に力を尽くしました。

一般質問は、かきうち信行議員（2月18日）、渡辺くみ子議員（2月19日）が、過去最大規模の予算を福祉・くらし最優先にと、保育園や特養ホームなど切実な区民要求実現を求めました。

予算特別委員会（2月27日～3月17日）に

は、かきうち、渡辺、森の3議員が委員として審議をおこない、予算組替え動議を提案しました。

14年度予算については、認証保育所保育料補助の拡大など一部前進面はあるものの、国民健康保険料の大幅値上げや、保育園待機児問題など切実な区民需要にこたえていないことなどから反対しました。

本会議最終日にだされた副区長を2名にするための議案は、現庁舎跡地、池袋駅東西デツキなど大型開発を進める態勢をつくるものであり、区議団は反対しました。

第1回定例会では日本共産党の粘り強い提案のいくつかが実りました。

その一つは認可保育園です。本会議初日、区長はようやく認可保育園5か所誘致を表明しました。

この間日本共産党は粘り強く一般質問や予算決算委員会、申し入れなどで認可保育園増設を強く求めてきました。

しかし未だ具体的な認可保育園の場所がきまらなかったわけではなく、区は株式会社など民間誘致です

すめようとしていることも問題です。

区議団は、区が責任をもって保育園を設置することで保育の質を向上させ、安心して子育てできる認可保育園増設と子育ての負担軽減にひきつづき取り組めます。

また、認証保育所の保育料補助の大幅拡充も実現できました。認証保育所等の保育料補助制度の拡充については昨年第3回定例会でわが党が議案提案したところ、自民党、公明党、自治みらいは否決してしまつたのです

予算組替え動議の概要は2面

14年度予算について区長は「過去最大規模の予算」といいますが、新たな認可保育園増設の具体化も特養ホームの増設計画も区営・区立住宅などの新規計画もありませぬ。削減した入浴券やタクシー券の復活もしいかなど、福祉や暮らしにかかわる分野には消極的です。

区議団は予算組替え動議を提案しましたが、他党派は質疑もせず否決し資金計画は行き詰まり、てしましました。

新ホールをはじめとする現庁舎周辺整備で事業者を呼び込むために莫大な税金をつぎ込む計画を進めています。

また造幣局跡地整備、池袋駅東西デツキ構想など不要不急の箱物つくりをすすめるようとする予算です。

認可保育園にはிரりたい パパママと 一緒に運動

区議団は、14年3月、「保育園を増やして廃止予定の池袋本町でほしい」「入れない臨時保育所の保護者やれば仕事ができない」その他の保育園に入所できない保護者とも「認可外の施設で死亡事故が起きている。安心して預けられる保育園を」と次々と要望が日に区に申入れしました。親子約40人が集ま出されました。



区民要求にこたえず 大型開発すすめる予算

かきうち議員が一般質問

かきうち信行議員は「過去最大規模の予算」は、住民の暮らし、福祉第一」と題し、一般質問しました。

●2014年度予算と財政運営について

かきうち議員は、まず

来年度予算について、過去最大規模にも関わらず、認可保育園や特養ホ

るべきでない」と質問し、区長の答弁は、

な認可保育園誘致を示した。区長は「生活保

設計段階から住民を無視したことが問題であり、入札不調となつたことから全面的に見直すべき」と質問。区は、一時凍結している」と答弁しました。

最後にかきうち議員は、①子どもの医療費を高校3年生まで拡充を②眼科検診の実施を求めました。

●消費税増税を区民に転嫁するな

消費増税により、給食費が引き上げられるなど区の事業に影響がでるが、この負担を区民に転嫁すべきでない」と質問し、区長の答弁は、

な認可保育園誘致を示した。区長は「生活保

設計段階から住民を無視したことが問題であり、入札不調となつたことから全面的に見直すべき」と質問。区は、一時凍結している」と答弁しました。

最後にかきうち議員は、①子どもの医療費を高校3年生まで拡充を②眼科検診の実施を求めました。



よる児童の受け入れを⑤スマートフォン保育、保育ママ、臨時保育所にも保育料負担軽減をすすめよと、5点の質問をしました。

●保健制度の拡充について

最後にかきうち議員は、①子どもの医療費を高校3年生まで拡充を②眼科検診の実施を求めました。



これに対し、区長は、今後も区民ニーズに対応し、財政を運営していくとごまかしの答弁に終始しました。

次に、かきうち議員は、待機児童が過去最高になり、もはや認可保育園の増設をしない限り解決しないと主張。区は、新たな

活保護の法外援護である入浴券の枚数復活と、豊島区以外すべての区が実

を付けた決定に対し反対すること、また保険料減免を区独自に拡大することを要求。しかし区長はこれらも拒否しました。

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。



渡辺議員が一般質問

渡辺くみ子議員は「介護、医療など社会保障制度改悪のもとで区民生活をまもれ」と題し、一般質問しました。

●低所得者対策について

渡辺議員は、まず生活保護制度について質問。安倍政権は生活保護基準の引き下げに次いで、保護の申請手続きの厳格化、親族扶養義務強化等、制度の改悪を進めていることを指摘し、「生活保護の申請権を侵害せず口頭申請を認めること」「申

また「扶養義務については強制すべきでない」と追及。区長は「福祉事務所が扶養を強制するものではない」「適切な実施に努める」と答弁。

さらに渡辺議員は14年度予算が「過去最大規模の予算」というなら、生

生活保護費に付加されている」と復活を拒否。

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。

●介護保険制度について

渡辺議員は、国が「要支援1・2」の訪問・通所介護を介護保険からは

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。

●街づくりについて

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。



また「扶養義務については強制すべきでない」と追及。区長は「福祉事務所が扶養を強制するものではない」「適切な実施に努める」と答弁。

さらに渡辺議員は14年度予算が「過去最大規模の予算」というなら、生

生活保護費に付加されている」と復活を拒否。

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。

最後に「現庁舎地の活用及び周辺整備」計画について、資金計画も不透明、将来に禍根を残さないため「計画の白紙撤回」と抜本的な見直しを」と追及。区長は「見直しはしない」と強弁しました。

予算組替え動議

事業・施策の拡充

- ①生活保護世帯の入浴券枚数増、夏期歳末見舞金の復活
- ②保育ママ・小規模保育所・臨時保育所の保育料負担軽減の拡充
- ③寝たきり高齢者等おむつ事業の支給額の増額、所得制限の廃止等
- ④生活保護世帯への福祉タクシー券支給
- ⑤子ども医療費無料制度高校3年生まで拡大
- ⑥眼科検診の創設
- ⑦子どもの自転車ヘルメット補助金額の増額
- ⑧私道排水設備助成等の補助率の引き上げ
- ⑨コミュニティバス事業調査経費の創設
- ⑩中小商工業者への直賃し制度の創設
- ⑪就学援助基準の引き上げ
- ⑫修学旅行交通費補助制度の創設

事業・施策の縮小廃止

- ①東西デッキ関係経費の廃止
- ②現庁舎地活用事業経費の廃止
- ③(仮称)豊島区新ホール整備事業経費の廃止

主な条例・請願・陳情・意見書について（四面も参照してください）

最大規模の予算を区民の願いにこたえる

予算にするため奮闘しました（予算委員会審議から）

公営住宅の増設・拡充を

かきうち信行議員

増設計画はなく、今後
の住宅対策は、わずかな
家賃補助制度の拡充にす
るべきと質しました。



特養ホームの増設を急げ

森とおる議員

森議員は、特養ホーム
の問題を取り上げまし
ました。これは区が申し
込みを毎年行なうよう
に



日本共産党は引き続
き、必要な人が入所でき
るように申し込み方法を
是正させることに取り組
み、何よりも特養増設の
具体化をめざします。

高齢者のおむつ補助

区長は検討を約束

渡辺くみ子議員

渡辺議員は高齢者おむ
つ支援事業についてとり
あげました。「おむつは
人間の尊厳にかかわるこ
と。所得や介護度による
制限をなくし、区の施策
として制度を拡充すべ
きと強く求めたところ、
区長は「検討する」と答
弁しました。
区はこの間、高齢者の
おむつ支援事業につい
て、財政難を理由に次々
と削減してきました。現
在、補助額は6千円（相
当）で、65歳以上で要介
護4以上、85歳以上で要
介護2以上等、年齢や介
護2以上等、年齢や介



かきうち議員は、こう
した区民の実態をあげ、
公営住宅の必要性を強調
しました。
区は公営住宅の必要性
は認めています、具体

自民党、公明党、自治みらいが

陳情を不採択に

臨時保育所廃止に伴う陳情

池袋本町臨時保育所が
3月末に閉鎖されること
に伴い、認可保育園にす
べて入れることを求める
陳情が子ども文教委員会
で審査されました。
委員会で儀武議員
の質問で2月21日現在、
758人も認可保育園に
入れないことがあきらか
になりました。大変深刻
と主張しました。
子どもを預けて働きた
いという親の気持ちは至
極当然。保護者の切実な
願いにこたえるためにも陳
情を採択して応援すべき
です。
与党会派は、「採択す
ると豊島区の保育行政を
ゆがめてしまう」などと
まっていたので対応で
きなかった区の責任は重
大。安心して認可保育園
た。



「50億円の新ホールはやめて」の陳情

50億円「新ホール」の
建設白紙撤回と「現庁舎
地の活用及び周辺整備計
画」の再検討を求める陳
情が総務委員会で審査さ
れました。
かきうち、小林両議員
は、50億円の「新ホール」
設計画について、区民が
利用できる区民のための
公会堂建設こそ求められ
ているが高額の利用料が
予想され区民が事実上利
用できないものになるこ
と、当初の新庁舎設計
画では17億円で「公会堂」
建設としていたものが、
50億円の「新ホール」に
突如変わったものであ
り、新庁舎資金財源のた
めの民間業者呼び寄せの
手段とされていることな
どを明らかにし、陳情の
採択を主張しました。自
民、公明、民主の議員は、
「街づくりの投資は必要」
などと言って不採択にし
てしまいました。



(仮称)
**西部地域
 複合施設
 建設凍結**

校庭・体育館を早く利用可能に

旧平和小跡地に計画している(仮称)西部地域複合施設は、二度にわたる入札不調で一時的凍結をしていましたが、4月9日に開かれた施設用地委員会に「オリンピック前後を目途に、事業環境が整うまで」建設を凍結するところが報告されました。

あわせて①同地にプレハブを作り西部区民事務所と郷土資料館の事務室を移す②解体瓦礫を整理し、校庭と体育館を使い、校庭と体育館を使い、河野議員は、住民の強い要望である校庭・体育館を早く利用できるようにする③千早地域創造館と千早図書館の耐震補強と改修を行うことになり、14年度予算に、また、建築工事がだいにすべき、と発言。

ふ先になる見通しであり、区民に評判の悪い「卵型」設計については「凍結解除」したときに使えるかどうかかわからない、このまま進めるべきではないと主張しました。



旧平和小学校跡地は、校舎の解体が終わった状態になっています。できるだけ早く体育館と校庭を改修して、区民に開放すべきです。

国民健康保険料の大幅値上げ

もう限界!



国保料値上げ条例が区民厚生委員会(河野委員長)で審査されました。毎年値上げが横行されてきた国保料ですが、今回は賦課限度額の引き上げや、高額療養費分を4年間かけて全額を保険料にはね返る仕組みを導入したことなどで、1人あたり保険料は年間10万3千円から14万7千円もの上昇です。

森議員は、「すでに滞りがっているから仕方ない」などと発言し、今回も値上げに賛成しました。

また、区が補助金を削減しており、加入者ばかり負担を押しつけることは間違っていること、ところが、自民、公明、民主などは、「医療費が上がるから仕方ない」などと発言し、今回も値上げに賛成しました。

会派など	会派等						結果
	日本共産党	自民党豊島区議団	公明党	自治みらい	みんな・無所属	生活の党	
意見がわかれた主な議案等							
豊島区国民健康保険条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○
平成26年度豊島区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計の各予算	×	○	○	○	○	○	○
豊島区副区長定数条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○
豊島区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○
豊島区副区長の選任について	×	○	○	○	○	○	○
池袋本町臨時保育所閉鎖に伴う児童の認可保育所受入についての陳情	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択
50億円「新ホール」の建設白紙撤回と「現行舎地の活用及び周辺整備計画」の再検討を求める陳情	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択

○は可決に賛成 ×は可決に反対

日本共産党豊島区議団

ホームページもご覧ください <http://www.jcp-toshima.jp>

ご意見、ご要望をおよせください

控室 3981-1429 FAX 3590-4650



儀武 さとる
 巣鴨 5-38-1
 (3918) 9458



河野 たえ子
 西池袋 5-26-28
 (3957) 2600



森 とおる
 南大塚 2-6-12
 (6912) 0135



小林 ひろみ
 高松 2-52-10
 (3955) 8244



渡辺 くみ子
 高田 2-8-9-308
 (3971) 1950



かきうち 信行
 南長崎 3-8-19
 (3950) 3675